

山本乾燥情報

適期刈り取り(刈り遅れに注意)について



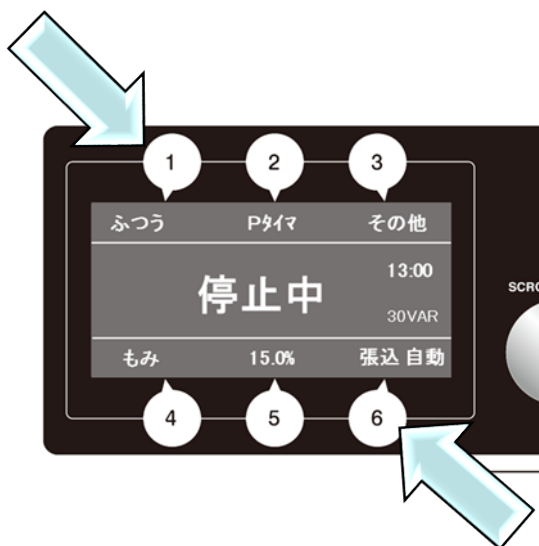
出穂期(8月頃)以降、高温が続き、もみの肥大など出穂後の登熟(成熟)が一気に進んでいる地域が多くあるようです。この場合、水分不足による胴割れになりやすいので、適期に収穫するようにお願いします。



高温が続くと乳白粒や心白粒が発生したり、胴割れが発生したりする恐れがあります。玄米にダメージが少なくなるよう低温で乾燥することで、胴割れの増加・重度化を抑え高品質なお米に仕上がります。

弊社乾燥機は、張込量(穀物量)を下げると乾燥温度が下がりゆっくり乾燥します。

最新の乾燥機では、乾燥速度を設定できるので「ゆっくり」を選びます。



①を押すと乾燥速度が設定できます。「ゆっくり」を選択します。

または
⑥を押して、実際の張込量よりも少なく設定すると、乾燥温度が下がります。

粳の水分のばらつきがある場合は、「休止乾燥」をお勧めします。操作盤で、水分休止設定やプログラムタイマ設定を行ってください。※型式により設定方法が異なりますので、取扱説明書を参照ください。